

公募型プロポーザル方式（簡略手続タイプ）に係る手続開始の公示

次のとおり技術提案書の提出を招請します。

2025年8月29日

首都高速道路株式会社
代表取締役社長 寺山 徹

1 業務概要

- (1)業務名 (負) 高速都心環状線（日本橋区間）一石橋本設橋梁基本設計
- (2)業務内容 本業務は、高速都心環状線（日本橋区間）の地下化事業に関連して架替えを行う一石橋の本設橋梁の基本設計を行うものである。
<業務内容>
 - ①橋梁形式選定
 - ②桁下高さ A.P. =+5.1m を確保した場合の縦断線形検討
 - ③周辺への影響を考慮した縦断線形検討
 - ④基本設計
 - ⑤関係機関協議資料作成
 - ⑥打合せ
- (3)履行期間 契約締結日の翌日から540日間
- (4)その他
 - ①本業務は、提出された技術提案書を審査した結果、技術提案書の評価点が70点以上の者の中で最高の者であり、かつ、業務規模として定めた金額の範囲内で有効な見積書を提出した者を契約の相手方として特定する公募型プロポーザル方式（簡略手続タイプ）の対象業務である。
 - ②本業務は、見積等を電子入札システムで行う対象業務である。ただし、電子入札システムによりがたいものは、契約責任者の承諾を得て紙入札方式に代えるものとする。また、紙入札の承諾に関しては4(1)に掲げる事務の担当部局に紙入札方式参加承認申請書（電子入札留意事項様式第1）を提出するものとする。
 - ③本業務は、担い手の育成支援を目的とした試行業務である。
 - ④本業務は、BIM/CIM (Building/Construction Information Modeling, Management) モデルの活用による建設生産システムの生産性向上及び高度化を図ることを目的として実施するBIM/CIM対象業務である。
 - ⑤その他については、電子入札留意事項によることとする。

2 競争参加資格

- (1)首都高速道路株式会社契約規則実施準則（平成23年準則第1号）第73条の規定に該当しない者であること。
- (2)首都高速道路株式会社における2025・2026年度競争参加資格の「橋梁設計」の認定を受けている者であること。
- (3)参加表明書の提出の日から契約の相手方の決定の日までの間において、競争に参加しようとする者の間に、資本関係又は人的関係がないこと（詳細は「資本関係・人的関係がある者同士の競争参加制限について（https://www.shutoko.co.jp/business/bidinfo/data/kanke_seigen/）」に記載

載)。なお、上記の関係がある場合に、辞退する者を決めることを目的に当事者間で連絡を取ることは、調査・設計業務請負現場説明書の説明事項1(1)イの記載に抵触するものではないことに留意すること。

(4)業務実施上の条件

①法人に必要とされる業務の実績

当該業務に参加希望する法人は、2015年度以降に以下に掲げる要件を全て満たす業務を完了した実績を有すること。ただし、同一の業務で各実績を有する必要はない。同一の業務の場合、その業務実績を1件の業務実績とする。同一の業務でない場合、両方の業務実績を併せて1件の業務実績とする。なお、当該実績について、首都高速道路株式会社が発注した業務においては調査・設計業務成績評定通知書によって通知された業務評定点（総合評定点）が60点未満のものを除く。

イ) 河川上を跨ぐ道路橋の新設・架替えに関する実施設計^{※1}又は概算設計^{※2}

ロ) 都市部（DID^{※3}）における道路線形検討業務

※1 実施設計とは、次のいずれかの業務をいう。

- ・首都高速道路株式会社における「実施設計」業務
- ・国土交通省における「詳細設計」業務
- ・その他発注機関における国土交通省の「詳細設計」と同等の業務

※2 概算設計とは、次のいずれかの業務をいう。

- ・首都高速道路株式会社における「概算設計」業務
- ・国土交通省における「予備設計」業務
- ・その他発注機関における国土交通省の「予備設計」と同等の業務

※3 DIDとは、人口集中地区のこと。人口集中地区とは、市区町村の境域内において、人口密度の高い基本単位数（原則として人口密度1平方キロメートル当たり4,000人以上）が隣接し、かつ、その隣接した基本単位数内の人口が5,000人以上となる地域。

②予定管理技術者に必要とされる要件

イ 技術者資格（予定管理技術者）

技術士〔建設部門（鋼構造及びコンクリート）〕、RCCM（鋼構造及びコンクリート）又はこれと同等の能力と経験を有する技術者。

なお、外国資格を有する技術者（我が国及びWTO政府調達協定締約国その他建設市場が開放的であると認められる国等の業者に所属する技術者に限る。）については、あらかじめ技術士相当又はRCCM相当との国土交通大臣認定を受けている必要がある。

ロ 業務実績（管理補助技術者を配置する場合は管理補助技術者）

2015年度以降に完了した、以下に示される同種又は類似業務について、1件以上の実績を有さなければならない。なお、当該実績について、首都高速道路株式会社が発注した業務においては調査・設計業務成績評定通知書によって通知された業務評定点（総合評定点）が60点未満のものを除く。

同種業務：河川上を跨ぐ道路橋の新設・架替えに関する実施設計^{※1}又は概算設計^{※2}

類似業務：道路橋の新設・架替えに関する実施設計^{※1}又は概算設計^{※2}

ハ 手持ち業務量（予定管理技術者）

2025年8月29日現在の手持ち業務量（特定後未契約のものを含む。）において、管理技術者又は担当技術者となっている契約金額が500万円以上の業務の契約金額の合計が5億円未満かつ件数が10件未満であること。

なお、手持ち業務が複数年契約の業務の場合には、契約金額を履行期間の総月数で除し、当該年度の履行月数を乗じた金額とする。

【手持ち業務量が超過した場合】

2025年8月29日以降契約締結日まで及び履行期間中、管理技術者の手持ち業務量（本業務を含まない。）が契約金額で5億円又は契約件数で10件を超えた場合には、遅滞なくその旨を報告しなければならない。その上で、業務の履行を継続することが著しく不相当と認められる場合は、当該管理技術者を交代させる等の措置を請求する場合がある。

なお、変更後の管理技術者は以下の要件をすべて満たす者とする。

- a) 当該管理技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
- b) 当該管理技術者と同等の技術者資格を有する者
- c) 当該管理技術者と同等以上の業務評定点を有する者
- d) 手持ち業務量が上記で定めた制限量を超えていない者

(5)参加表明書の提出期限の日から見積開封のときまでに、当社から競争参加停止措置準則（平成17年準則第22号）に基づく競争参加停止を受けていないこと。

3 技術提案書の評価基準

(1)技術提案書による評価

- ① 予定管理技術者の年齢、管理技術者としての当社業務経験回数及び予定管理補助技術者の配置
- ② 予定管理技術者及び予定担当技術者の技術資格
- ③ 予定管理技術者（管理補助技術者を配置する場合は管理補助技術者）及び予定担当技術者の同種類業務の実績
- ④ 予定管理技術者及び予定担当技術者の手持ち業務量
- ⑤ 予定管理技術者（管理補助技術者を配置する場合は管理補助技術者）及び予定担当技術者の当社及び公的機関からの表彰経験
- ⑥ 予定管理技術者（管理補助技術者を配置する場合は管理補助技術者）の当社での業務成績

(2) 配置予定技術者からのヒアリングによる評価

- ① ヒアリング対象者
 - イ 予定管理技術者
 - ロ 予定管理補助技術者（配置する場合）
- ② 評価項目
 - イ 専門技術力の確認
 - ロ 業務への取組姿勢の評価
 - ハ コミュニケーション力の評価

4 手続等

(1)担当部局

首都高速道路株式会社 更新・建設局 総務・経理課
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町2-2-1 KANDA SQUARE 17階
TEL：03-6803-3696

(2)現場説明書・技術提案書作成要領等の交付期間及び方法

- ① 交付期間：2025年8月29日（金）から2025年9月19日（金）午後4時まで
- ② 方法：下記サイトより参加希望者に無償で交付する。
 - ・首都高速道路株式会社ホームページ（入札公告等）

(<https://www.shutoko.co.jp/business/bid>)

③交付資料のダウンロード操作手順：

上記サイトにて、該当業務の交付資料ダウンロード欄を選択し、案内に従い、情報（会社名、担当者名、連絡先等）を入力する。登録確認メール（ダウンロード先 URL 及びダウンロード先パスワードの通知）を受信し、通知されたパスワードを入力してログインし、交付資料をダウンロードする。なお、やむを得ない事由により、上記交付方法による受領ができない場合は、別の方法（CD-R 等の配布）により無償で交付するので、上記(1)の担当課まで申し出ること。

(3)参加表明書等の提出期限、提出場所及び提出方法

①電子入札システムによる場合

参加表明書（電子入札システムにより提出すること。）

- ・受付期間：2025年8月29日（金）午前10時から
2025年9月19日（金）午後4時まで

技術提案書

〈持参の場合〉

- ・受付期間：2025年8月29日（金）から2025年9月19日（金）までの毎日（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条に規定する行政機関の休日を除く。以下同じ。）、午前10時から午後4時まで（正午から午後1時までを除く。）
- ・受付場所：上記4(1)に同じ。

〈郵送の場合〉

- ・受付期間：2025年8月29日（金）から2025年9月18日（木）まで
- ・郵送方法：書留郵便等の配達記録が残るものに限る。なお、郵送提出する旨を事前に上記4(1)に記載の担当部局まで連絡すること。
- ・郵送先：上記4(1)に同じ。

②紙入札による場合

参加表明書及び技術提案書

〈持参の場合〉

受付期間及び受付場所は、上記4(3)①〈持参の場合〉のとおり

〈郵送の場合〉

受付期間、郵送方法及び郵送先は、上記4(3)①〈郵送の場合〉のとおり

5 その他

- (1) 手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 契約書の作成要否 要（本件は電子契約を推奨する。）
- (3) 関連情報を入手するための照会窓口は上記4(1)に同じ。
- (4) 技術提案書のヒアリングを行う。
- (5) 電子入札システムの稼働時間は、休日を除く午前8時から午後10時まで
- (6) 障害発生時及び電子入札システム操作等の問合せ先は、次のとおりとする。
電子入札ヘルプデスク 電話 0570-021-777
(平日のみ午前9時から午後5時30分まで（正午から午後1時までを除く。))
Mail：sys-e-cydeenasphelp.rx@ml.hitachi-systems.com
- (7) 見積参加希望者が電子入札システムで書類を提出した場合には、受付票及び競争参加資格確認通知書を電子入札システムで見積参加希望者に送付するので、必ず確認を行うこと。
- (8) 本掲示に関して詳細不明な点については、上記4(1)に掲げる担当課に照会すること。
- (9) 詳細は現場説明書及び技術提案書作成要領による。